

# 横浜市立桜岡小学校 令和3年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>『共に生きることを喜び、かしこく、たくましい子に育てます。』</p> <p>&lt;スローガン&gt;「自ら輝く、共に輝く」</p> <p>【知】基礎をしっかり身に付けたかしこい子に育てる。</p> <p>【徳】法やままりを守り、思いやりをもって生きる子に育てる。</p> <p>【体】明るく楽しい生活ができるたくましい子に育てる。</p> <p>【公】地域などの人々とのふれあいを大切に、少しでも役に立てる子に育てる。</p> <p>【開】様々な人と学び合い、理解し合って共に生きる子に育てる。</p>	<p>&lt;多様性を認め、共生しあう力&gt;</p> <p>&lt;自ら意欲的に学ぶ力&gt;</p> <p>&lt;心身ともにたくましく生きる力&gt;</p>

#### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>「人間関係の育成・学力の向上を目指す学校」「生命・安全、人権を大切にする学校」「使命感をもつ教員がいる学校」「地域社会のネットワークを生かす学校」を指針とする、桜岡小チームを伸ばします。</p> <p>○子ども一人ひとりが共に生きることを喜び、かしこく、たくましく生きることができるよう、人間関係をはぐくみながら、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、基礎学力をしっかり身に付けさせるようにします。</p> <p>○子ども一人ひとりに、善いもの・美しいもの・尊いものにあこがれる豊かな情操と人権意識をはぐくみ、自分の生き方を見つめる力を育てます。</p> <p>○教職員のチーム力を向上させ、学校運営協議会・PTA・桜岡学援隊との円滑な連携を組み、地域に根ざした安心・安全な学校づくりを推進します。</p>

#### (3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

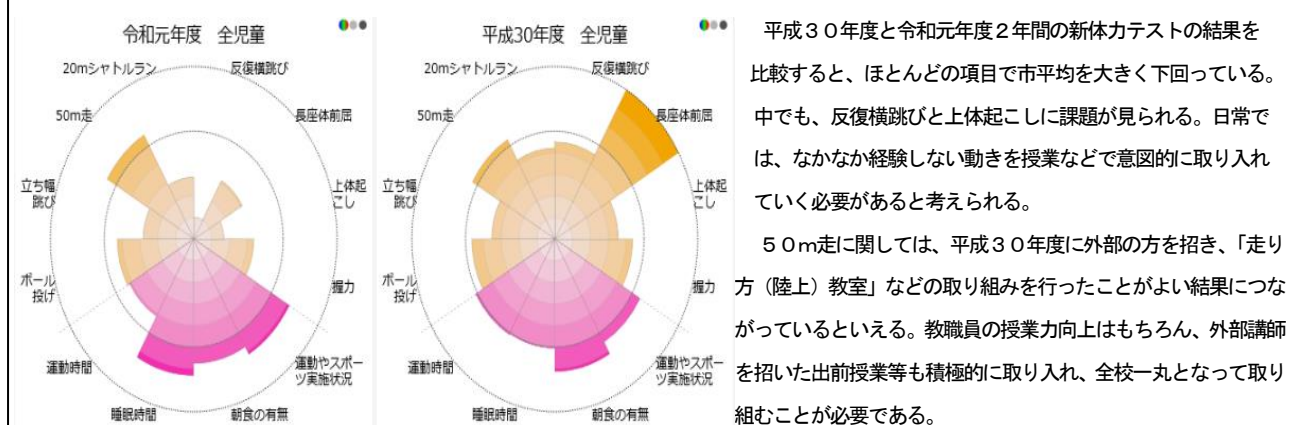
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	<p>感染予防対策の外出自粛による児童の体育・健康面から課題を明確にし、体育科だけでなく教育活動全体を通して健やかな体の育成を目指す。</p> <p>①なわとびタイムの継続等、授業だけでなく体を動かす活動を充実する。</p> <p>②自分の体力や健康を見つめ、健康状況を把握し、よりよい健康習慣を身に付ける。</p>
担当	体育部

### 2 体育・健康に関する実態把握

#### (1) 体育・健康に関する実態

- ・平成30年度、令和元年度の2年間、新体力テストの生活意識調査では、ほとんどの項目で市平均を上回っている。
- ・休み時間の保健室利用状況（傷病の状況）では、毎年減少傾向にある。
- ・1校1実践の取り組みのなわとびタイムが定着してきており、健康や運動に対する意識は高まってきている。

#### (2) 体力の概要と要因の分析



### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### 《保健・体育科での取組》

- ・子どもが運動の特性に触れ、楽しさを実感し、仲間との対話による課題解決や学習資料の活用による主体的に取り組む体育科の授業を展開できるように教職員一人ひとりの授業力向上に努める。
- ・めまぐるしく変化する現代の健康課題に対応し、健康・安全についての基礎的な知識の実践的な理解とその活用、探究に重点を置き、自らの健康課題を把握し、改善することができる資質や能力を身に付ける。

##### 《他教科での取組》

- ・生活科や理科で生き物や植物を育て、その生命の尊さや自分たちとの健康とのつながりについて知り、豊かな心情を育てる。
- ・「正直、誠実」の重視による、「誠実に明るい心で生活しようとする」態度の育成を目指した道徳の授業づくりをする。

#### 特別活動・総合的な学習の時間

- ・児童の体育・健康面の課題を明確にし、目標をもって運動に取り組むことができるよう休み時間等を有効活用しながら健やかな体づくりを目指す。
- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させ、徒競走や団体競技の中で実践できるようにする。また、集団で活動する楽しさや達成感を味わえるようにする。
- ・多様な動きを体験できるように、休み時間を活用した運動集会や運動クリニックによる技能面の向上、運動委員会と保健委員会の連携による健康の啓発活動を行う。
- ・学級活動では、学級集会による運動の実践、心身ともに健康で安全な生活態度の育成と学校給食において望ましい食習慣の形成を図る。

#### 課外活動

- ・週2回の早朝練習特別クラブの設置…「特別球技クラブ」「特別スーパータッチボールクラブ」
- ・健全な食生活を営む態度を育むために、給食の時間を活用し、栄養など食に関する指導を行う。
- ・各学級で自らが自分ごととして取り組めるよう、学校保健委員会では、こころと体に関するテーマを設定する。
- ・体力テストの結果を共有し、家庭との連携を図るために、個人面談等を利用して保護者に発信する。
- ・地域の体育協会協力による「いきいきキッズ」での運動体験を行う。

### 令和3年度 桜岡小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 さくらっ子、みんなで体力向上大作戦！！

《ねらい》 体育科の授業をはじめ休み時間も有効に活用し、運動に親しむ機会を意図的に作り、体力の向上を図る。子どもが生涯を通じて運動を日常生活の中に積極的に取り入れようとする態度を高める。

《内容》

- ・「桜岡なわとびタイム」を月3回程度、火曜日の朝会時に実施
- ・休み時間を活用した「チャレンジリズムジャンプ」「みんなでなわとびタイム」「みんなでストレッチタイム」など
- ・運動委員会：学年ミニ運動会、長縄集会、桜岡マラソン
- ・保健委員会：集会や朝の時間の放送を使った健康への啓発活動

●指 標： ①体育科の授業で子ども自身が技能の高まりを感じたり、自己の成長を振り返ったりすることができるような授業づくりに取り組み、その振り返りを行う。  
②次年度の生活実態調査での「運動やスポーツの実施状況」の考察。